

最も美しいといわれる甲虫 ヤマトタマムシ

写真は、ヤマトタマムシといわれる甲虫です。タマムシ科の甲虫は日本では、ウバタマムシやクロタマムシなど200種以上がいますが、ヤマトタマムシは美しい大型種です。日本の甲虫の中で最も美しいともいわれます。体長30mm～40mm、本州、四国、九州で6～8月に出現します。緑色の金属光沢があり、背中に虹のような赤と緑の縦じまが入っています。見る角度によって色が変わって見えます。英語で Jewel beetle (宝石のような甲虫) と呼ばれます。

天敵である鳥は、「色が変わるもの」を怖がる性質があるため、この金属光沢は、鳥を寄せつけない効果があるようです。色彩が変化することから、どのようにも解釈ができ、はっきりしない物事の例えを「玉虫色」といいます。

ヤマトタマムシの上翅(じょうし) (上の硬いはね) は、死んでも色が変わらないので装身具に加工されたり、法隆寺宝物「玉虫厨子」の装飾として使われたりしています。

日差しが強い日によく活動し、成虫のエサであるエノキやケヤキなどニレ科の広葉樹林を飛び、夜間は幹の陰に潜んでいます。ヤマトタマムシは、カブトムシやクワガタムシとともに人気がある甲虫の一つですが、その姿をあまり見なくなりました。

陶史の森を虫たちにとっても住みやすい森として守っていきたいと思います。



横からのヤマトタマムシ



正面からのヤマトタマムシ

森	の
日	記

林泉の池の散策路を改修しました 7月1日(木)

林泉の池西側の散策路が、崩落しかけていました。散策路として陶史の森を利用する皆さんには大変人気の道です。この度、改修工事が完了し、安心して散策していただけるようになりました。長い間、大変ご迷惑をおかけしました。

陶史の森には、他に直す必要があるところもあります。順次改修していく予定です。



陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。

教室のご案内

8月

- バードウォッチング (要申込 定員10人)
8月22日(日) 午前9時～11時 雨天中止
夏の野鳥を観察します。野外活動です。

9月

- バードウォッチング (要申込 定員10人)
9月26日(日) 午前9時～11時 雨天中止
初秋の野鳥を観察します。

※上記行事につきましては、新型コロナウイルス予防対策のために中止になる場合があります

《お知らせ》

- 陶史の森まつり
9月5日(日)に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とします。